

おさしつかえなし ご注文なし

おたすけの月は まんまと そのの心に映ってくださいました

三河のおそのさん

正月汁 2月19日(日)は、正月汁。毎年旧正月と旧盆の



親鸞聖人のご命日に各組の方々が集い組の報恩講をつとめ



聖人を偲びお斎を食し、組同志の懇親をもつ場として営んできました最近では16日前後に近い日曜日に、お講が持たれます。今年は、下組の方々が当番です。朝から皆さん集まって来られ、お斎の準備が

されました。11時より本堂にて「正信偈・六首引き」のおつとめ、お話は「黒白二鼠の譬え」です。お釈迦さまが、快楽を求め、そこに埋没しながら生死の事をなおざりにしている「私」のすがたを譬えられたお話です。『御文章』拝読、『恩徳讃』を唱和して、庫裡に移動し、お斎をいただきました。今では大勢で食事をと



る機会が少なくなってきましたので、美味しさが増しますね。お腹がいっぱいになりました。続いてティータイムをもち、春の歌をたくさん歌いました。ホットなお講のひとつきをもたせていただきました。南無



恒例の2月13日は名古屋別院報恩講仏教婦人会参拝研修でした。鈴鹿組からバスで参拝、存仁寺からは11名が参拝いたしました。雅楽の流れる中、法要が厳修されました。

「正信偈」のおつとめの中、焼香をしました。ご講師の福岡教区松月博宣さんより「ご開山ご出世のご恩」と題してご法話をご聴聞させていただきました。浄土の真実が私をつつんでくださっています。



2月25日東海教区仏教壮年連盟研修会が、湯の山ホテルウェルネス鈴鹿路で開催。存仁寺から4名が参加しました。広島の高橋

哲了さんより「念仏者の生き方」の講義を受けました。



2月22日学校を終えて夕方お寺に集合しました。4年生の夢菜さんの調声で「らいはいのうた」のおつとめ、若院お話、鐘を撞きました。

4月1日常信寺さんで開催の鈴鹿組はなまつりのポスターと消しゴムハンコ作りをしました。そして、今日の夕食は「リゾット」と「ポトフ」、またたく間に完食。片づけ、カードゲームをして楽しみました。子どもたちは土日も様々な行事がある中、平日のひとつを寺で過ごす時間を持っていただきました。



無量寿会例会 2月の例会は、岡田さん調声による「正信偈」のおつとめの後、井関会長のご挨拶、住職より「私は浄土真宗—人生の節目・結婚式—」のテーマでのお話し、結婚の往時を思い出しながら、出会いなどを話してくださる方もありました。



「娘たちよ」の仏教讃歌をうたい、ゆっくりと歓談しながらティータイム。その後は若々しく、イキイキ体操をしました。今月3月15日(木)は追悼法要をおつとめいたします。



今年は異常気象にて、処に依っては大雪の被災に遭われ、その被害が連日、テレビにて観る度に心が痛みます。北国に住む私達には、大雪は日常の事で有り、その対応には慣れていますが、不慣れた地域の方々の事を考えると他人事とは思えませんが、先月末にPCに有ったデータがすべて消失しました。どこを誤操作したのかと考えても解らず、専門店(PC専門店)に聞いても原因が判らず、結局はデータを一から作り直すしかない。データで一番大切にしていたのが、アルバムを写真に撮り、PCに残すことでしたので、まずはそれから始めました。何冊も有るアルバムを観て、あ・・・この時に、もっと親孝行をしていたならと思うのが大きくなります。でも、やり直しは出来ないなとアルバムの写真を撮るだけです。

北海道大島義勝さん

「やり直しのきかぬ人生であるが、見直すことは出来る」



突然にパソコンのデータが全て消失したその原因が判らない、何処を誤操作したか修正の仕様が無い一大事だ、専門店もダメ原因が判らなく処置の仕様が無い。

「消えたデータを一から作り直すしかない、アルバムの写真をカメラに撮りPCへ移すアルバムの数は四十数冊、これは大仕事だデータの消失が悔やまれる。

「アルバムを観て、懐かしく往時を思い出すああ・・・これは私の幼少時の写真だこれは・・・父母叔父叔母の幼少時の写真今は、父母・叔父叔母は皆居ない

「あの時、父に母に尽くしたんだろうかと悔やみ昔に戻れるのなら、絶対に親孝行をする

「親孝行をしたい時には親は無し」

の言葉だけが虚しく心に行き交う

「あずまの恋」

おりおり

たずねる駅の川越は

しだいに

姿かわりてゆけり

冬さりて

春きたりなん

湖に 小舟ゆきかふ

竹生島あたり

「思ひ草」

白様の



甘き樹液は旅人を

いやしていたり

北国の春

東京 小笠原孝枝さん



弥生の句

今朝咲きし梅一輪の白く来し
九十路やちち夢金ね雛飾る
立つ春や消くふの角まろなる
落椿玉のめくみく交うごぬ
病む友に言葉選ひて春苺
玉砂利に待春の音刻みけり
又一戸老舗閑させ(春愁かな
落椿彦代子



人生は長きだけじゃない
幅もあれば、深さもある
金子大栄

金子大栄



いつか別れねば
いなくなるという上に
今も出遇っている
この出遇いを大切に
したいものである



札幌市大島光子さん

牙とあわせ

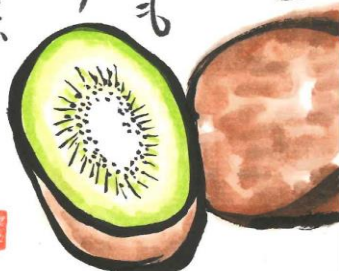
念仏申す

この吾も

仏の子なり

ありがたし

南無



朝倉市 森田瑛子さん

春、いのちが咲いてくる陽気、悲しみの時の流るるを感じ
る空気、時はめぐりまた春が来てあの日と同じ
流れの春、七年の月日です。なもあみだが、なもあみ
だぶつ。どうかくれぐれも、おだいじにて、